

経営比較分析表（令和元年度決算）

千葉県香取市 香取おみがわ医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	-	透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
75,538	10,159	第2種該当	10:1	

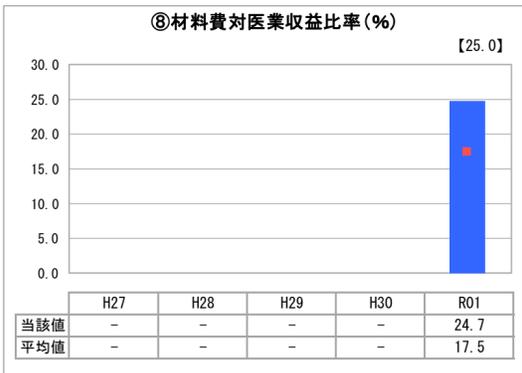
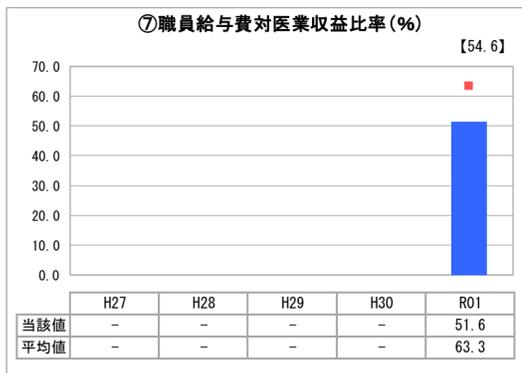
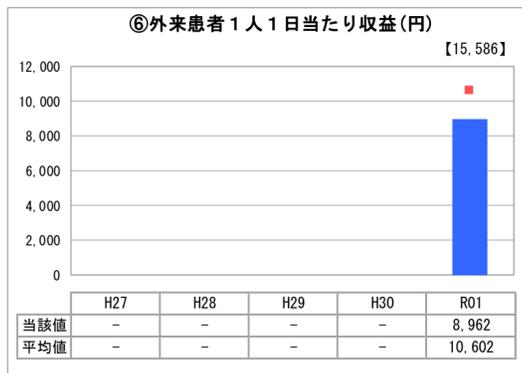
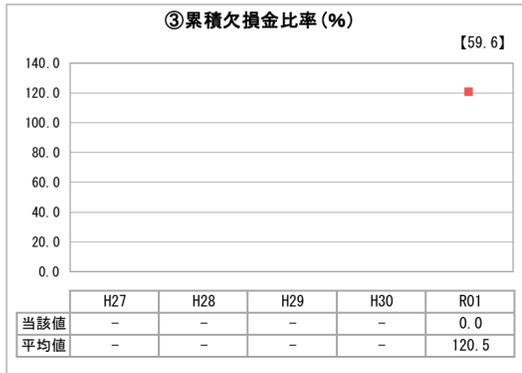
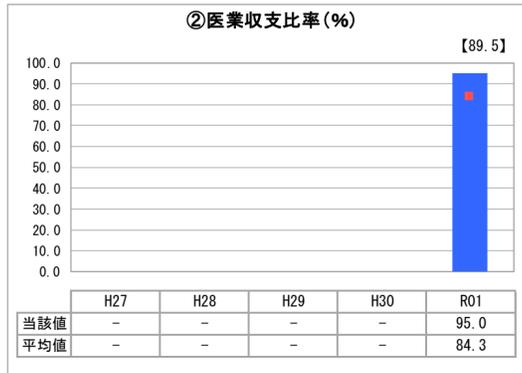
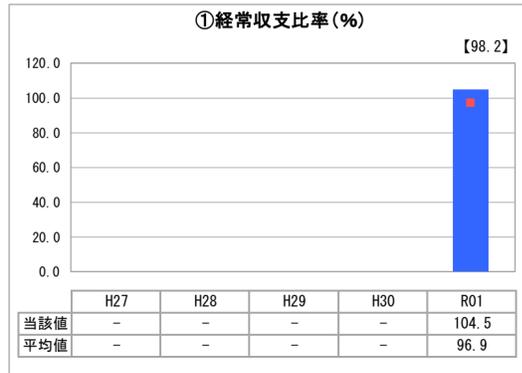
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

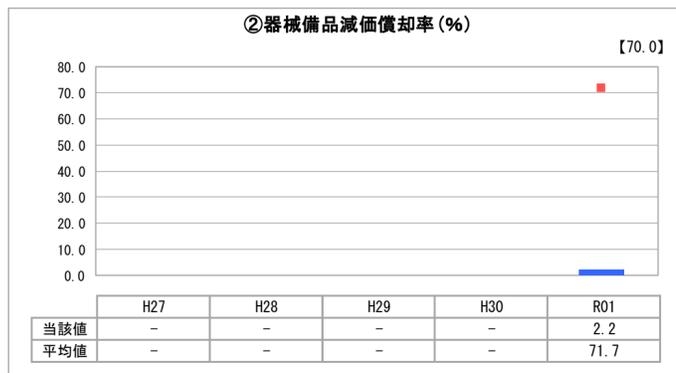
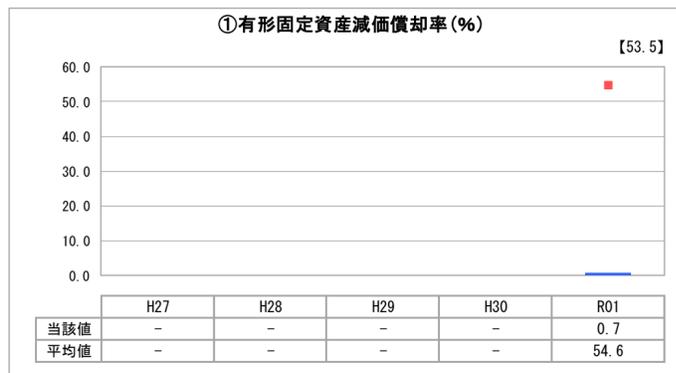
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
100	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
100	-	100

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

当医療センターは、令和元年9月1日に旧香取市東庄町病院組合から香取市が事務を承継し、病院事業を開始している。市民並びに近隣自治体住民の健康保持と福祉増進のため、急性期医療から在宅医療を総合的に担う地域の中核病院である。また、公立病院として担うべき救急医療や一般診療と民間医療機関では限界のある高度で専門的な医療の提供により地域医療水準向上の役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性を示す経常収支比率は100%を上回っているものの、9月に開院した新病院の事業開始に伴い、運営に要する経費の一部を一般会計から基準外として繰入れたことが影響している。医業収支比率は95%と100%を下回っているものの、類似病院平均値を約10ポイント上回っていることなどから、病床利用の効率化が図られており、健全な医業活動の状態にあると推測される。一方、費用では材料費対医業収益比率を減減させるため、取扱い医薬品や医療材料の見直しを行うことが必要となり、更に人員の適正配置を行うことにより、一層の職員給与費の縮減を図り効率的な経営を行うことが必要と考える。

2. 老朽化の状況について

令和元年9月に新病院庁舎等の取得及び供用を開始しているため、有形固定資産減価償却率は類似病院平均値を下回っている。

全体総括

経営の健全性・効率性については、各指標の状況を総合的に判断すると、類似病院平均値を上回っており、今後の継続性が重要となる。このことから、安定的な収益確保を行っていくためには、近年減少傾向にある常勤医師を確保することが最大の課題であり、医師を招へいするために様々な検討や取り組みを行っていく必要がある。なお、当地域では今後、人口減少が加速化することが見込まれるため、地域のニーズに即した医療提供体制と水準を確保しつつ効率的な事業運営を行っていく。また、旧病院から踏襲した「小見川総合病院新改革プラン」に基づき経営の健全化を図り、地域への役割を果たしていく。